模索する動きが出ている

と「まちおこし」としての国際貢献の形を

日本を取り巻く国際環境 AMDAはより必要と

十周年を迎え、どうい

府ベースの国際協力だけでおっている。

される時代となり、役割も が急激に変わった十年だっ

前の郵政省による国際ボラ の役割が認識された。 う教訓なんですよ。 はできないことがあるとい

もつ一つの変化は、三年

ZGO

る目が変わり支援し始め

現地

中央官庁がNGOを見

NGOの体質も変わった ばならない」というように 分だけの仕事をやらなけれ

無し草。

サイレントマジョ

学生アシア連絡協議会を結 きさつを教えてください。

昭和五十二年に西日本医

多様性を持たなければなら

また、

AMDAの国

緊急救援活動 要な柱である

には現地に

行うには医療チーム自体が

の多様性に対応する医療を

NGOは少ないと思うので うに多くの国にまたがった

地域おこしに結び付く のフィードバックなどは、

アシアの多言語、多文化、

U.

カルNGOのネットコ

すなわちアシア

ク形成のお世話役を務め NGOサミットは日本が

あった。これは地域には根の思想」がバックボーンに

ンティア貯金の設立。

配

た人たちと見られ、

重

競やNGOは

方についてはどうお考え

今後の緊急援助の在り

先進国だけの

要だ。人道主

とも言えます。 ることがトピアの最終目標 との相互支援体制を構築さ 発言権を持ち、さらに国 はいかない。国連に対して GOの活動を見逃すわける アフリカ各地のローカルド ようとするもの。アジア、

ものではない

昨年十一月に提唱され

は国家間、

第二はNGO

今までの国際協力は第

NGOはそれまで変わっ

援」へと発展した。 「相互理解」から「相互支

結成から10年 う心境ですか。

緊急支援体制

AMDAの10年間の活動を振り返り 「今後は官民―体の活動が必要」と

語る管波代表

は動かなかったんです。 AMDAを結成したい (声なき大多数)

町出身。岡山大医学 広島県深安郡神辺 本で、47歳。

GO機能集積地にしたい。 展望を教えてください。

岡山を日本、アジアのN

ではないか。 は行政との官民一体の活動 体。そしてこれからの第一

緊急援助は実力の世界。

どで何をすればよいのか分

く役に立たなかった。情熱医学生二人を派遣したが全 民のキャンプに医師一人と や技術だけではやっていけ 慣習や言葉の違いな

> 構想について、その意義と た「国際貢献トピア岡山」

解し、やがて相互支援へ発 の医師、医学生と相互に理 からなかった。アジア各国 展させようと結成した。 タ その柱となるのは地方自治

イに飛んだ医師は私だった 貢献NGOサミットの開催 体緊急援助団の設立と国際

白本ではAMDAのよ 地方自治体緊急援助団へ

地域医療へ

うことだと考えます。 納得をしてもらう活動を っと高めるには、 (ODA) からの補助を

庁の支援や政府開発援は

といになるだけだ。中央官 詰めた人が行っても足手工 現地にリュックに浄財だい

連産業の育成、 の参加による国際交流、

-キッドプラン

制整備三カ年計画」の

の検

MDAなど国内六団体の

や中央官庁のN

GOグループ活動支援体 年八月から「緊急支援N 誇れる活動を」ーと、昨 活動を」

一日本の国民が

は

会を開いている。

計画は「オー

てそん色のない緊急救援

欧米のNGOに比べ

GO担当者らが参加する プランと名付けられた。 「国際資旗NGO想話会 隔月のペースで勉強 ーキッド け合わせている。 であろう子供への呼び掛 援を一番必要としている る。そのタイの国花ラン ア難民救援活動に始ま (ORCHID) と、数

七九年のタイのカンボシ

国際緊急援助隊へと改編 CA)の国際救急医療チ に国際協力事業団(JT CAに運用を委託する 日本では昭和五十七年 六十三年には国がJ (丁MTOR) が発 イランの大地際

はPKOで、国際緊急援

府は紛争地域の難民救援

助隊の出動は地震などの

自然災害に限定した。 界の緊急援助活動は 役割が大きくなった」 ドに限界がある。余計に できない。「それは国境から要請がなければ出動 師団」などNGOが主体 際赤十字」 は緊急時の対応のスピー があるから。政府主導で AMDAの管波代表 人道主義で動くNGOの 政府主導では相手の国 「国境なき医

の木本

インドネシア

● AMDA支部 ○これまでの主な活動地域

げることが重要。だが活ネットワークをつくりあ 博之所長は「官との協力 こいなかった。 外務省N 渡り合うだけのNGOや 動の多様性を失っては意 G〇同士の連携は育っ さらに日本には欧米と 国内NGOの

そこで浮かび上がった

インド・カルナタカ州 無灰地区巡回診療

民間主導で派遣ネ

官庁担当者らと勉強会

クルド難民の ムを派遣 態勢には、 ネットワー GO協力センター いと言う。 も、NGOの役割は大き を理解してもらうために 際協力は政府だけに任せ 味がない」と話し、 しおくのではなく、国民 人ひとりにその重要性

カンボジア 難民本国帰還

援派遺態勢を三年かけて 築し、民間主導の緊急救 積地を岡山に置こうとす のは官民の協力関係を積 るのが「国際貢献トピア つくろうというオ プラン。その機能線

した実績を持つ。

数援などにチー

和維持活動(PKO)協力

一昨年の国連出

法の成立で自衛隊の海外

水遺が可能になると、

バングラデシュのミャンマー難民キャンプで 診療にあたるAMDAの医師

WOF MEDICAL DOCTORS OF ASIA

れるのと並行して、地方自治体または地域 中央でNGOと官庁との協力関係が協議さ た「国際貢献トピア岡山構想」元年となる。 的な活動を展開してきた。今年は、 会(AMDA)=本部岡山市、 Aが「岡山をNGOのメッカに」と提唱し 持ち、日本の非政府組織(NGO)の先駆 回も)―が、今年で結成十周年を迎えた。 岡 の救援活動を展開するアジア医師連絡協議 山の地を本拠に、 アジア、アフリカで難民や災害の被災民 、十五の国、 地域に支部を 营波茂代表

・ビスヌ村 ネパール・ビ 地域保健E医療 イラン・バクタラン州 クルド難民キャンプ ネャール・ブータン 難民キャンプ ネパール バングラデシュ・ ミャンマー難民キャ 日本 台湾 カンボジア フィリピン・ ピナトゥボ火山噴火 インド南西部大地震 スリランカ フィリピン 0

シンガポール

MDA活動10年間の足跡

の新しい方向ではないか」と ッポートしていくのは行政の一「地方自治体がNGOの活動を

ている。

安宅市長は「これまで

9

物の交流だけでは行き詰

援事業に対して資金援助する 人的国際援助活動や留学生の支 「市国際交流推進事業助成金交

るようだ。

地方自治体にもボラ 特に緊急医療活

NGOの自己資金に

91年 1億6797万ドル

1億3000万ドル

米国サンノゼなど四都市と行っ

昨年五月には、

開発途上国での

付要項」を設け、

民間団体のバ

は」と話している。 助する制度があってもいい ンティア休暇的な国際貢献を援 動に関してはそういう素地があ

岡山市は姉妹都市縁組交流を

まっているのも確か」と話す。

ら地元で活躍するロー 〇が岡山に集まる。

安宅市長は 会場となる。アジアの各地域か 貢献NGOサミット」のメーン

カルNG

開催地・岡山市の

安宅敬祐市長

今秋開催へ

地元後押し

想を支持していく。岡山は、

宗權

教や医療が発達しているよう 提唱する「国際貢献トピア」

国際資献、

AMAAが本語を置く間山市 今年秋に開催予定の「国際

国際貢献

G

Oサミッ

石坂さん、柳原さん

ソマリア難民の子供たちと。上段左から

治体国際援助団

職員二人がAMDAの医師

加茂川町が名乗り

外の講演会などに引っ張り活動に参加。帰国後も町内 再建や難民キャンプの診療 ソマリア北部で現地の病院 (主)は昨年七月、ジブチと

める方針だ。

片山町長は

『地域おこしに』が基本

国際賣

議会を結成し 名乗りを上げたら、 連絡協 急援助団に複数の自治体が

事務局を務

スライド

に同行してジブチ国内に流

活動に参加した御津郡加茂人したソマリア難民の救援

地方自治体国際緊急

町職員派遣

の第一弾として昨年夏、町の「海外研修助成制度」

町

平町長は「国際交流という

春から施行の予定。

、片山舜

柳原さんと石坂公宏さん

町は、地方自治体国際緊

外からの参加を呼び掛ける。

地域おこ

の立場

ウを生かそうとする計画。

御津郡加茂

和気郡和気町が参加の意思を表明、 人材と生活関連の技術など行政のノウ つの柱、地方自治体国際緊急援助団は を計画している。

る活動を展開するために必要だ。今年秋の開催 山に招き、相互の理解と支援態勢づくりを進め

現地NGOの育成、

連携は、

県内の自治体がAMDAなどNGOの緊急救援

フリカと日本国内のNGO三十

一五十団体を聞 より効果のあ

「国際貢献NGOサミット」は、アジア、ア

管波代表が提唱した「国際貢献トピア岡山構

る会は今月に初めての会合を開く 方自治体国際緊急援助団」の創設を柱とし、国 想」。「国際貢献NGOサミット」の開催と「地 %能集積地・岡山」を目指す。 同構想を推進す **|機能の集積するジュネー** ブに対する「NGO

から構想の準備を進めてきた。 行政的な手続きに手間取るケー の中で被災地に駆け付けた際、衣食住の確保や急救援のあり方について会合を持ってきた。そ AMDAなど国内の六団体は二月から国際緊 ースもあったこと

国際貢献トピア構想

NGO機能を 岡山に集積へ

E

統療法で交流 東洋医学研究所。計画

年)ゆかりの地として、A 常閑(一六七五—一七一三 MDAと協力し「東洋医学 と言われる第十一代万代 針。さらに「富山売薬の祖」 外での活動に派遣する方 二人程度をAMDAの海意思を表明、今年は町職員 治体緊急援助団に参加の 和気郡和気町は地方自 名を変え、 に転居し医者を開業、家伝備前国益原村(現同町益原) 伝わって「越中反魂丹」と 与えていた。これが富山に の丸薬「返魂丹」を患者に ていた万代家は室町時代に して全国に売り出されたと 腹痛止めの薬と 家伝 地に温泉を生かした高齢者

益原には万代家の墓所が が昨年九月

ある。周辺五町で作る和気 を掘り当て、 生和気町長) 墓所の近くで「鳥飼谷温泉」 北部衛生施設組合(藤本道

岡山藩医として池田綱政

で代官を務め

研究所」の設置を計画して

第二代万代常閑の像

和気町

F

人医師も来町

町政にフィー 康、福祉意識の高揚に役究拠点、さらに町民の健 割から始めたい」と話して NGOのサポ 立てたい。 に生かせる東洋医学の研 滕本町長は 職員の派遣も 現地での医療 ドバック 「常閑ゆかり

訪問するなど準備を進めて CAMDAインドのクリシ ・U・K医師が和気町を ルヴェーダの専門家 インド の伝統医学

どに加え、 を設ける。 業費三十七億円で、 関の里 健康研修センター た「鳥飼谷温泉」 常閑記念館、 建設を計画。

インド南西部大地震被災民緊急 救援チーム派遣、リハビリ施設

る。昨秋、掘り当てられ

掘り当てられ

東洋医学研究所 完成は七年夏の 一万代常 保養施 総事

活動開始

陣ソマリア難民プロジェクト派 造へ ネパール・バングラデシュ大洪 水被災民に対する緊急救援医療

の農業研修団がAMDAの招き で岡山県で研修実施 日本初のNGO4団体合同によ

カンポジア難民の本国帰還支援

前身は全日本医学生アジア連絡協議会 (AMSA)。現在15の国と地域に支部 国内には東京都と大阪市に在日 外国人向けの無料の医療情報センター 「AMDA国際医療情報センター」を開 設している。

あり方として、NGO活動は一環太平洋などの国々との共生の

ックアップを始めた。「アシア、

つの突破口になり得るはず」

ح

「岡山市としてはAMDAの

90年 1.1%

91年

い。町民の関心も高く、「得意分野を生かせれば んどん参加してほしい」と んは「だれでも自分の持つ 柳原ご

国民1人当たりのNG O援助実績(91年)

職設置規則」が発表され。 議会で「町国際緊急援助組

期ではないか」と話す。 交流から国際貢献への過渡

規則の性格を話す。

即団設立の規則づくりを進

か

昨年十二月の町会全員協

せない。

ない。地方自治体も国際は、実際何ができるかと言

曼男さん

図

三を中心に接 ノチに赴いた民生課の柳原 **節団に名乗りを上げ、**

認識はみんな持っている

体験を伝えている。

オランダ、スウェーデンなど 15~205 15~30Fn

米国 10.6Fm ドイツ 9.65 日本 2.2FA

た日本人として、行政でも世界に確固たる地位を築い

取り組んでいくべき」

第1回アジア医師国際会議開催 AMDA設立

火被災民の支援医療活動開始

病傷のケースや職員のカバ 献も職務の一部と考える。 にある」と話し、

態勢など課題も多いが、

ネパール・ビスヌ村地域医療活 動開始 エチオピア・ティグレ州難民医

療支援活動開始 バングラデシュ国内ミャンマ 難民支援の医療チーム派遣 ネパール国内ブータン難民支援 の医療活動開始

の医療活動開始

タイの野党指導者チャムロン氏

るソマリア難民救援活動開始 アジア多国籍医師団結成。第1

インド・カルナタカ州無医地区 巡回診療プロジェクト実施 イラン・クルド難民支援医療プ 1988年 1991年 ロジェクト開始 フィリピン・ピナトゥボ火山噴